

指定管理者評価表

様式1

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺自然ふれあいの森	
(2) 施設の設置目的	
里山の保全のために、農、散策、遊び、学習などの活動を通じて、里山と人との新しいかかわり方を考えるきっかけの場づくりのために設置	
(3) 所管部局	
建設局 公園緑地部 公園緑地整備課	
(4) 指定管理者名	
ふれあいの森パートナーズ (株式会社生態計画研究所、特定非営利活動法人いっちゃんクラブ)	
(5) 指定期間	
平成26年4月1日から平成31年3月31日まで(5年間)	
(6) 主な事業	
里山保全や環境教育・啓発の取組みとして、自然観察・農作業体験・クラフト教室などの自然体験プログラムや里山ボランティア養成講座等の様々なプログラムを市民協働で実施するとともに、建築設備の維持管理や園内の安全管理などの施設管理を行っている。	
(7) 有料施設の有無	
無	
(8) 公募・非公募の別	
公募	
(9) 主な利用者	(10) 市内における受益対象者数
乳園児・小学生から高齢者まで全般	不特定多数
(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標	
無	

2 管理運営状況

(1) 特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

里山の生態系に配慮した順応的管理手法による里山管理をはじめとする、ふれあいの森の保全及び利用を目的とした園内管理について、毎月1回運営会議を開催(市民ボランティア・大阪府立大学・指定管理者・堺市で構成)し、管理運営に反映させている。

(2) 利用者サービス

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指定管理者名	ふれあいの森 パートナーズ	ふれあいの森 パートナーズ	ふれあいの森 パートナーズ	ふれあいの森 パートナーズ	ふれあいの森 パートナーズ
ア 利用者数 (人)	32,286	33,025	35,162	33,622	/
イ 稼働率 (%)	—	—	—	—	
ウ 利用者満足度 (%)	98	98	98	98	
「利用者サービス」における市による状況分析	利用者数については、3万人を超えており、安定的な利用者数を維持している。利用者満足度についても高水準を維持している。				

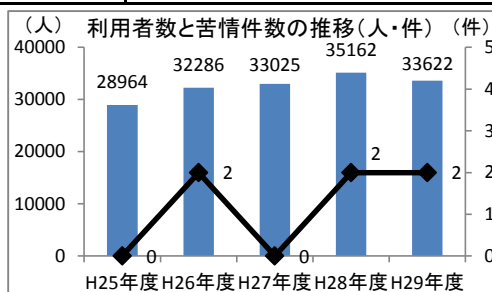
(3) 収支状況(単位:円)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予算)
ア 収入	指定管理料	32,800,000	32,800,000	32,800,000	32,800,000	32,800,000
	利用料金	0	6,480	0	0	1,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他収入	559,389	1,453,005	1,111,344	822,706	1,074,467
合 計		33,359,389	34,259,485	33,911,344	33,622,706	33,875,467
イ 支出	人件費	21,200,000	22,688,000	22,688,000	22,688,000	22,688,000
	委託料 ()内は総支出額 に占める委託料の割合	1,615,412 (5.2%)	1,615,412 (4.8%)	1,991,252 (5.9%)	1,835,735 (5.5%)	1,641,332 (4.8%)
	その他経費	8,274,622	9,532,817	9,087,346	8,707,704	9,545,400
合 計		31,090,034	33,836,229	33,766,598	33,231,439	33,874,732
利用者一人当たりの支出額		963	1025	960	988	—
ウ 収支差額		2,269,355	423,256	144,746	391,267	735
エ 市への納付金の額		—	—	—	—	—
オ 徴収委託の場合 の徴収額		—	—	—	—	—
「収支状況」における市による状況分析	スタッフ自らによる教材の作成や、節電、節水、間伐材の利用等、身近な部分においても経費の削減につながる管理運営を行っており、安定的な収支状況を維持している。					

3 目標管理、評価等

(1)適正な管理運営の確保

目標管理	評価の指標	苦情及び有責事故発生件数・利用者数	(設定理由) 里山の自然環境に配慮しつつ、広く利用者の拡大を図るため。
	目標	苦情及び有責事故発生件数 5件以下 利用者数 30,000人以上	(設定理由) 利用者の拡大を図るとともに、苦情件数は最低限に抑える。
	実績	・苦情発生件数 2件 ・有責事故発生件数 0件 ・年間利用者数 33,622人	(分析) 利用者数については、過去最高来園者数となった昨年に対して減少したが、昨年に次ぐ利用者数となっている。苦情については、2件発生したが目標を達成している。 ※目標未達成時は詳細な原因分析



平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項	開園時、閉園時に園内巡回を行い、危険個所の解消や予防ならびに、職員間での情報共有を行っている。また、危険生物による被害防止のために施設利用者に対して注意喚起などを行っている。
---------------------------------------	---

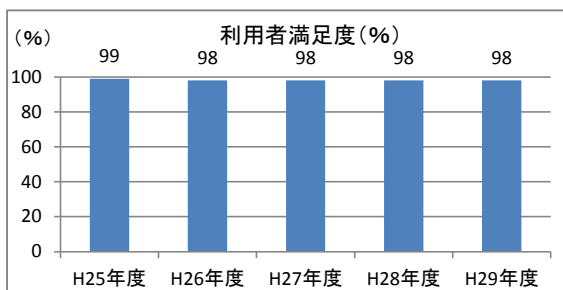
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	一般利用者、イベント参加者に対して適宜アンケート調査を実施しており、利用者からの要望、苦情等の把握を行った上で、対応できる内容については適切に対応している。
-----------------------	--

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	B		B	
	具体的な理由	自然体験学習の実施や環境教育の普及・啓発に努めるとともに、幅広く市民が施設利用できるよう情報発信した。小学校への広報活動及び研修会の開催、他の博物館や商業施設への出展等利用促進を積極的に行ったが、入園者数は前年を下回った。		利用者数は、昨年に対して減少したが、目標を達成し、昨年に次ぐ利用者数となっている。小学校をはじめとした教育施設等の受入れについて、環境教育プログラムの発送や教員向けに研修会を行うなど積極的に行っている。商業施設等へも外部出展や他施設との連携を行い、利用促進につなげている。 また、地域について発信したり事業の連携を行ったり、積極的に地域との連携に努めている。 目標は達成しているが、苦情が2件発生している。	
対応策等	小学校教員を対象にした研修会の開催や、教育施設等への出講、市民の方が集まる商業施設でのイベントや、区民まつり等への出展を行い多方面への広報活動を行う。一般団体に対しては団体の要望に沿うプログラムを提案するなど、利用促進に繋げる。		外部出展を行っている商業施設など企業との連携を行いながら、施設の利用促進にとどまらず施設の多様な利用性の提案を行っていくことも重要である。 未然に事故や苦情を防ぐような、事前の危機管理が重要である。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(2)利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標	利用者満足度	(設定理由) 施設利用、イベント参加等に対する利用者の評価。
	目標	90%以上	(設定理由) 多様なプログラムの実施とともに、高い利用者満足度を得る。
	実績	98%	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 高い水準を維持している。



利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項	利用者の中心となる堺市の小学校3年生の校外学習の目的「堺市の環境を知る」「自然に親しむ」に合わせたプログラムを作成し、環境教育プログラムに反映させている。また、教科教育内容に合わせた教員向けプログラムを充実させている。
--	---

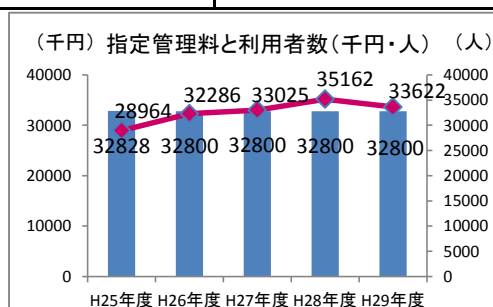
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	一般利用者、イベント参加者に対して適宜アンケート調査を実施しており、利用者からの要望、苦情等の把握を行った上で、対応できる内容については適切に対応している。
-----------------------	--

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	B		B	
	具体的な理由	高い満足度が得られた一方で、人気のイベントにおいては、キャンセル待ちが多く、需要にこたえきれていない部分がある。		キャンセル待ちとなる人気のイベントもあるなど、利用者満足度の高いプログラムの提供ができています。また、人気が高いイベントについては、追加実施や定員の増加など対応を行っている。	
	対応策等	限られた指導スタッフの中で配員を調整し、人気イベントにおいては、実施回数を増やすなどして対応していく。また利用者のニーズを把握し新たなプログラムの開発・提供していく。		プログラムごとの利用者数の傾向等を把握し、多様なプログラムを提供するとともに、利用者の強いニーズには可能な限り配慮する必要があります。	

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

目標管理	評価の指標	指定管理料	(設定理由) 指定管理料の適正な執行を行うため。
	目標	年間32,800千円以下	(設定理由) 同上
	実績	年間の管理運営に要した費用は33,232千円で、指定管理料32,800千円と利用料金等収入を合わせた計33,622千円の範囲内で運営した。	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 安定的な収支状況を維持している。



収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項	指定管理料の計画的な予算執行が確認できた。また、経理事務は適切に処理されていた。
------------------------------------	--

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	特になし
-----------------------	------

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価		
	評価	B		B	
	具体的な理由	目標数値は達成したが、近い将来消費税率が上昇し、建物・設備等の老朽化に伴う修繕費の経費などが増えてくることから、来園者の満足度を維持したまま、引き続き経費の削減に取り組む必要がある。	経営的に安定した施設運営を行っている。		
対応策等	園内の管理作業を常駐スタッフが行ったたり、3Rできるものは積極的に実施し作業の内製化などを行う。	計画的な予算の執行を行いつつ、平成29度の実績も踏まえてより効率的な運営を行う必要がある。			

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの